

## 当院における長時間心電図検査機器の比較

### 1 週間ホルター（gram、Heartnote）の導入を通して

◎田邊 聖<sup>1)</sup>、森崎 優也<sup>1)</sup>、里見 郁<sup>1)</sup>、難波 真砂美<sup>1)</sup>、津浦 幸夫<sup>1)</sup>  
国家公務員共済組合連合会 横須賀共済病院<sup>1)</sup>

#### 【はじめに】

心房細動（以下 Af）は脳梗塞や心不全などを引き起こす可能性があるため、早期発見・早期治療が重要である。当院ではこれまで 24 時間ホルターや 2 週間ホルターを用いて Af の検出を行ってきた。今回 1 週間記録ができる長時間心電図データレコーダ「gram」と「Heartnote」を新たに導入したので、それぞれの機器の特性やその有用性について報告する。

#### 【検討方法】

- ①新規導入した一週間ホルター gram（durantis 社）及び Heartnote（JSR 社）と従来使用していた 24 時間ホルター（日本光電）、2 週間ホルター（フクダ電子）との患者負担、業務負担、機器性能、費用などの比較。
- ②新規導入した 1 週間ホルター心電図の使用実績と検査結果の検証。

#### 【結果】

- ①12 月現在、Heartnote は導入準備中であったため gram と従来使用している機器で比較した。gram では 156 例の検査

を実施し 62 例が市外・県外の患者に対する検査であった。24 時間ホルターや 2 週間ホルターは機器取り外しの為の来院が必要だが、gram は機器送付のため再来院が不要であり、遠方からの来院患者への負担が軽減された。また装着が容易で外部解析であるため院内技師の省力化にも繋がった。十分な在庫を確保することで予約枠の調整なしでオンコールでの対応が可能となった。費用面において 1 週間ホルターはイニシャルコストが不要な反面、単価が高いため長期的にみると病院収益に繋がりにくいことがわかった。

- ②gram の Af 検出率は 13.0%（21/156 例）であり、このうちの 7 例は装着後 24 時間以降に検出された。また Af 検出患者 21 例中 3 例でアブレーション治療が実施された。

#### 【まとめ】

新たに導入した一週間ホルターは遠方から不整脈治療に訪れる患者の多い当院において患者負担の軽減、院内技師の業務負担の軽減、Af 検出率の向上など有用な機器であると考えられた。学会当日は Heartnote の使用実績を含め報告する。  
連絡先 046-822-2710（内線；2396）